

魅力に溢れた美町の 自然と農と食 を都市圏の人々に伝えたい！

そんな思いで2022年4月から、経済部農商工連携担当の協力隊として活動させていただいております。

今年度は、主に農家さんと関わらせて頂きました。

春から秋にかけ実際に畑へお邪魔させて頂き、美町の農業や生産過程を学ぶことが出来ました。

活動として、市外道外で開催されるイベントでの農産物・特産物のPRや、

農家さんのお力添えのもと、道外の方々を対象とした農体験ツアーの企画などを行いました。

その中でも2点の活動を、こちらでご紹介させて頂きたいと思います！

一 修学旅行生 農業体験

美町グリーン・ツーリズム研究会での取り組みである
「修学旅行生の農泊体験」の、現場スタッフをさせていただきました。

グリーンツーリズム研究会とは、
複数の農家さんが、美町らしい自然・文化・人々と交流などを楽しむ
滞在型の余暇活動に関する調査・研究を行うことを目的として、設置された団体です。

近年行われている活動としては、修学旅行生の農泊体験や
市内で開催されるNOASOBIキャンプでの食材提供です。

修学旅行生の農泊体験では関西圏の高校生が訪ねることが多いそうで、

私は久しぶりに関西弁を聞き、とても落ち着きました。(笑)

農が身近でない若者が土に触れ、作物に触れることで

食のありがたみや大変さを再確認するのはもちろん、

農作業を通してクラスメイトや農家さんと仲良くなる様子を見て、
この取り組みによって生まれる繋がりはずっと続いて欲しいと感じました。

来年度は現場スタッフの枠に留まらず、もっと幅広く活動したいと考えております。



昨年2月美町に大阪から農研へ移住してきて、もうすぐ1年になります。

この1年の記憶を振り返ると、春、いろんなところから生えているフキとアズキと玄米に戸惑い、
夏、広い空と青々とした米田と緑豊かな自然の中で生活が楽しかった。
秋、黄金に輝く田舎の景色に感動し、冬を越える前に収穫を終えて枯れていく植物に花が寂しかった。
そして冬、健康に生き生きと暮らす植物に驚かされたと思えば、いつの間にか雪が雪になり、あっという間に一面雪景色。
自然が繰り返す美しさは圧倒された1年でした。... (順次)と季節、移住や生活は、ほんと大変だね。...)

こうした1年の記憶に、もう一つ、付随して思い出の記憶があります。それはやはり、「食」です。
春にはアスパラ、夏にはハス栽培やトウモロコシなどの夏野菜、秋には新米やお餅、冬には鍋料理、沢山食べました。

季節の移り変わりは気分で感じるものではなく、目で見て感じるものです。そして、季節のものを食べることで、今の季節にあった食糧を摂ることで、

自然が教えてくれる風土で、季節を楽しむこと。季節のものを食べることで、今の季節にあった食糧を摂ることで、
こういった自然の循環に近しい暮らしは、私の心をもとても豊かにしました。

私が思う自然の魅力を、「自然」と「農」と「食」。来年度も様々な方々に伝えていきたい。努めて参ります。

また美町について、まだまだ知らないことが沢山ありますので、併せて勉強していきたいと思っています！！

市民の皆様、これからもどうぞよろしくお願い致します。

一 イベント実施



9月に、都市圏の方々を対象とした、
美町の地域資源を巡るツアーを開催しました！

東京、大阪、九州等から参加者が集まり、
8日間にわたり郷土資料館、アルテピアッツァ美町、宮島沼、
ホワイトデーターセーター、農家さんなどを巡り、
さまざまな要素で美町市が形成されていることを
感じていただきました。

農業体験では雨風の中枝豆を収穫したり、豆を寄ったりと、
都会ではあまり知ることでできない生産過程を実際に体験し、
改めて第一次産業と私たちは、生きていく上で
切っても切れない関係であることだ、ということをも
手紙させていただく機会となりました。

また、アートを通じた交流時間も設けさせていただき、
地元事業者さんや高校生、子供たちなど、
参加者の方々には地域の方々との繋がりを
楽しんでいただきました。

初日は美町の読み方すらままならなかった参加者達が、
「美町最高だね！また絶対来るね。」

と言って笑顔で帰っていく姿を見て、もっと多くの方々に
美町へ来てほしい！という気持ちにさらに強くなりました。

また来年度も、美町の魅力を伝えられるような企画を
していきたいと考えております！

イベントにご協力くださった皆さん、ありがとうございました。



【美町暮らし、1年を振り返る】

